

31) 穂苅市郎, 唐木芳昭, 黒木嘉人, 中村 潔, 新井英樹, 加藤 博, 佐伯俊雄, 小田切治世, 山田明, 島崎邦彦, 坂本 隆, 宗像周二, 真保 俊, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: stage IV胃癌の因子別予後の検討. 第46回胃癌研究会, 1986, 1, 東京

32) 穂苅市郎, 藤田敏雄, 榊原年宏, 東山孝一, 伊藤 博, 石坂龍典, 川西孝和, 永瀬敏明. 当院で経験した早期胆嚢癌の3例. 第223回新潟外科集談会, 1986, 11, 新潟

33) 中村 潔, 穂苅市郎, 加藤 博, 山田 明, 小田切治世, 坂本 隆, 宗像周二, 唐木芳昭, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 頸部食道癌の治療経験. 第5回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1986, 7, 富山

34) 中村 潔, 山田 明, 島崎邦彦, 小田切治世, 坂本 隆, 宗像周二, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫: 残胃癌の治療経験, 第7回北陸消化器研究会, 1986, 11, 富山

35) 川西孝和, 藤田敏雄, 東山孝一, 舟木 淳, 元尾南洋, 中山義秀, 榊原年宏, 石坂龍典, 伊藤 博: 早期胆嚢癌の2例, 第33回新潟癌治療同好会, 1986, 3, 新潟

36) 川西孝和, 佐伯俊雄, 穂苅市郎, 宗像周二, 唐木芳昭, 西沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 乳房疾患に対する超音波診断の経験, 第222回新潟外科集談会, 1986, 4, 新潟

37) 川西孝和, 唐木芳昭, 宗像周二, 佐伯俊雄, 穂苅市郎, 石沢 伸, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 教室における乳癌症例のリンパ節転移の実態, 第40回北陸医学会総会, 1986, 9, 金沢

38) 川西孝和, 宗像周二, 佐伯俊雄, 穂苅市郎, 唐木芳昭, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: ホルモンリセプターを検索しえた男子乳癌の1例, 第6回北陸乳癌懇和会, 1986, 10, 富山

39) 広川慎一郎, 伊藤 博, 田沢賢次, 唐木芳昭, 阿部要一, 永瀬敏明, 桐山誠一, 坂本 隆, 笠木徳三, 鈴木修一郎, 藤巻雅夫: 腹腔内膿瘍に対する経皮的ドレナージ法の検討. 第6回腹部救急診療研究会, 1986, 3, 東京

40) 清水哲朗, 田内克典, 坂本 隆, 島崎邦彦, 霜田光義, 加藤 博, 山田 明, 穂苅市郎, 唐木芳昭, 田沢賢次, 伊藤 博, 藤巻雅夫: 上部消化管手術における器械吻合症例の検討, 第222回新潟外科集談会, 1986, 4, 新潟

41) 清水哲朗, 唐木芳昭, 宗像周二, 佐伯俊雄, 加藤 博, 山田 明, 島田一郎, 斎藤智裕, 川西孝和, 穂苅市郎, 真保 俊, 田沢賢次, 猪股成美, 藤巻雅夫: 乳癌再建の一期的手術の経験, 第223回新潟

外科集談会, 1986, 11, 新潟

42) 田内克典, 藤田敏雄, 穂苅市郎, 東山孝一, 藤巻雅夫, 伊藤 博, 唐木芳昭, 宗像周二, 川西孝和, 川口 誠: 十二指腸カルチノイドの1例. 第40回北陸医学会総会, 1986, 9, 金沢

43) 川口 誠, 石沢 伸, 小竹 彌, 斉藤光和, 宗像周二, 中川 肇, 鍛治友昭, 北川和久, 小泉美朝: Flow cytometry による扁桃組織内のマクロファージ系細胞および末梢血単球の貪食能の検討. 第26回日本扁桃研究会総会, 1986, 11, 東京

44) 増山喜一, 田沢賢次, 鈴木康将, 山下 徹, 沢田石勝, 笠木徳三, 永瀬敏明, 伊藤 博, 落合宏, 菅野延彦, 藤巻雅夫: 椎茸菌糸体培養物より得られた温水抽出物, LEM の抗腫瘍作用について(第3報). 第7回癌免疫外科研究会. 1986, 5, 東京

45) 山下 徹, 田沢賢次, 斉藤光和, 加藤 博, 川西孝和, 佐伯俊雄, 沢田石勝, 穂苅市郎, 笠木徳三, 鈴木康将, 宗像周二, 唐木芳昭, 藤巻雅夫, 温熱療法 of 著効した切除不能再発乳癌の1症例 第6回制癌問題研究会, 1986, 11, 金沢

脳 神 経 外 科 学

教 授	高 久 晃
助 教	遠 藤 俊 郎
講 師	岡 伸 夫
助 手	平 島 豊
助 手	斎 藤 哲 現
助 手	中 田 潤 一
助 手	大 辻 常 男
助 手	山 谷 和 正
助 手	福 田 修
助 手	大 森 友 明
技 官	中 山 八 州 男

◆ 原 著

1) Hirashima Y., Moto A., Endo S. and Takaku A.: PI-specific Phospholipase C and Lipase Activity in Ischemic Rat Brain, In Brain Edema, 354—359, Springer-Verlag, Berlin, Heidelberg, New York, Tokyo. 1985.

2) 佐藤博雄, 高橋慎一郎, 園部 真, 杉田京一, 桑山直也: Chronic encapsulated intracerebral hematoma の一手術例. 医療40: 51—54, 1985

3) 高橋慎一郎, 園部 真, 甲州啓二, 桑山直也: 脳神経外科領域におけるセクレパンの使用経験. Progress in Medicine 5: 1819—1824, 1985.

4) 高久 晃, 堀江幸男: 小児の脳腫瘍. Medical Companion 6:315—319, 1986.

5) 松井千尋, 高橋省三, 諸橋正昭, 西嶋美知春
岡伸夫: Proliferating trichilemmal cyst. 皮膚病診療. 8: 439—442, 1986.

6) 鈴木倫保, 高橋慎一郎, 園部 真, 桑山直也:
同側多発性慢性硬膜下血腫を伴った中頭蓋窩クモ膜
嚢腫の1手術例. Neurol Med Chir 26:240—244,
1986.

7) 丸山字治, 水島 豊, 本 敦文, 山下直宏,
杉山英二, 星野 清, 横山彰二, 矢野三郎: セフェ
ム系抗生物質が原因として疑われたびまん性肺出血
の1例. 日本胸部疾患学会雑誌 24: 316—319,
1986.

8) 大辻常男, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 高久晃:
脳室—腹腔短絡術後に tension pneumocephalus を
呈した1例. Neurol Med Chir 26:426—429, 1986.

9) 高久晃, 桑山直也, 甲州啓二, 遠藤俊郎:
Peltier stack を用いた thermal diffusion 法による
脳血流測定—幼若脳における検討—. 厚生省神経疾
患, 発達期における脳循環障害調査研究班昭和60年
度研究報告書 昭和61年3月 pp. 129—134.

10) 高久晃, 堀江幸男: Lindau 症候群(Von
Hippel-Lindau 症候群). Clinical Neuroscience
4: 108, 1986.

11) 甲州啓二, 桑山直也, 園部 真, 富永悌二,
高橋慎一郎: クモ膜下出血様発作にて発症した脳腫
瘍出血の1例—C T所見を中心に—. 医療 40: 60—
63, 1986.

12) 高久晃, 桑山直也, 岡伸夫, 高橋慎一郎: 胎
内水頭症—エコーにて診断し得た4経験例—. 厚生
省特定疾患 難治性水頭症調査研究班 昭和60年度
研究報告書 昭和61年3月 pp. 107—112.

13) 野上予人, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久晃:
動眼神経鞘腫の1例. 脳神経外科 14: 1237—1241,
1986.

14) 平尾正人, 岡伸夫, 平島豊, 堀江幸男, 高久
晃: Deep sylvian meningioma の1治験例. 脳神経
外科 14: 1471—1478, 1986.

15) 栗本昌紀, 小原 進: 頸部頸動脈の分岐位置
の検討. Chigasaki Medicus 2: 5—7, 1986.

◆ その他

1) 堀江幸男: 脳腫瘍細胞の防御機構. Thera-
peutic Research 44: 22—30, 1986.

2) 遠藤俊郎: 脳神経外科からみた頭痛. とやま
県医報(S. 61. 7, 1 No930)昭和61年度富山県麻酔
科医会研究会シンポ”頭痛をめぐって”抄録.

3) 遠藤俊郎: 脳神経外科生活15年. 富山市医師
会報188号4—5 1986.

◆ 学会報告

1) 中田潤一, 岡伸夫, 高久晃: 実験の水頭症に
おける血管構築—水頭症およびシャント術後の脳外
套の復元に伴う変化の検討—. 厚生省特定疾患難治
性水頭症調査研究班 昭和60年度第2回班会議,
1986, 2, 神戸

2) 野上予人, 原田 淳, 堀江幸男, 岡伸夫, 遠
藤俊郎, 高久晃: 頸椎黄色靱帯石灰化症の一例. 第
17回日本脳神経外科学会中部地方会, 1986, 3, 名
古屋

3) 原田 淳, 西嶋美知春, 山谷和正, 遠藤俊郎
高久晃: 椎骨動脈に Duplicate origin を認めた1症
例. 第17回日本脳神経外科学会中部地方会, 1986,
3, 名古屋

4) 高久晃: 頭蓋脊椎移行部異常. 第14回日本小
児科神経外科学研究会 卒後教育セミナー, 1986,
3, 高知

5) 桑山直也, 岡伸夫, 高久晃, 高橋慎一郎: 胎
内水頭症の4例. 第14回日本小児神経外科学研究会
1986, 3, 高知

6) 園部 真, 須賀俊博, 藤本俊一, 広田 茂,
甲州啓二, 高橋慎一郎: 後頭蓋硬膜外血腫の発現を
みた血小板無力症の一小児例. 第14回日本小児神経
外科学研究会, 1986, 3, 高知

7) 岡伸夫, 西嶋美知春, 野上予人, 遠藤俊郎,
高久晃: 特発性頸動脈海綿静脈洞瘻に対する治療の
アプローチ. 第15回日本脳卒中の外科研究会, 1986,
4, 福岡

8) 西嶋美知春, 本 敦文, 野上予人, 新井研治
平島 豊, 神山和世, 高久 晃: 椎骨動脈起始部に
対する走行矯正術についての検討. 第11回日本脳卒
中学会総会, 1984, 4, 福岡

9) 福田 修, 佐藤秀次, 鈴木 尚, 高久 晃:
MRI による脳梗塞急性期例の検討. 第11回日本脳卒
中学会総会, 1986, 4, 福岡

10) 福田 修, 佐藤秀次, 鈴木 尚, 遠藤俊郎,
高久晃: MRI による頭部外傷例の検討. 北日本脳神
経外科連合会第10回学術集会, 1986, 5, 金沢

11) 広田 茂, 下瀬川康子, 甲州啓二, 園部 真
高橋慎一郎: レジン板上に再発した傍矢状頭部髄膜
腫の1例. 北日本脳神経外科連合会第10回学術集会
1986, 5, 金沢

12) 栗本昌紀, 岡伸夫, 野上予人, 堀江幸男, 遠
藤俊郎, 小原 進, 中田潤一: 特異な血管写所見を
呈した脳血管奇形の一例. 北日本脳神経外科連合会

第10回学術集会, 1986, 5, 金沢

13) 原田 淳, 遠藤俊郎, 岩井良成, 高久晃, 西
嶋美知春, 神山和世: めまいを主訴とした Sub-
clavian steal syndrome 4 症例. 北日本脳神経外科
連合会第10回学術集会, 1986, 5, 金沢

14) 増田良一, 福田 修, 高久 晃, 佐藤秀次,
鈴木 尚: MRI により脳幹部小梗塞と診断された
pure sensory stroke および pure motor hemipar-
esis. 北日本脳神経外科連合会第10回学術集会,
1986, 5, 金沢

15) 塚本栄治, 原田 淳, 吉村菜穂子: 機能的電
気刺激の経験 第1報—下肢に対する F E S の効果
と持続—. 第18回日本脳神経外科学会中部地方会,
1986, 6, 金沢

16) 神林智作, 大井政芳, 斎藤哲現, 遠藤俊郎,
高久晃: 後頭蓋窩に限局した陥没骨折の1例. 第18
回日本脳神経外科学会中部地方会, 1986, 6, 金沢

17) 武田茂憲, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久晃: ”
めまい” における椎骨動脈起始部の病変. 第18回日
本脳神経外科学会中部地方会, 1986, 6, 金沢

18) 土定建夫, 大井政芳, 斎藤哲現, 岡伸夫, 高
久晃: 小脳の低形成, 後頭蓋窩の嚢胞を伴った大孔
部髄膜瘤の1例. 第18回日本脳神経外科学会中部地
方会, 1986, 6, 金沢

19) 野上予人, 堀江幸男, 遠藤俊郎, 高久晃:
Cardiac myxoma の頭蓋内転移による neoplastic
aneurysm と思われた1例. 第24回北陸脳神経外科
集談会, 1986, 9, 金沢

20) 古市 晋, 神林智作, 斎藤哲現, 岡伸夫, 高
久晃: 診断上 air CT のみが有用であった聴神経鞘
腫の1例. 第24回北陸脳神経外科集談会, 1986, 9,
金沢

21) 遠藤俊郎, 高久 晃, John F. Alksne: 臨床
症状を示す家兎脳血管攣縮モデルの開発. 第45回日
本脳神経外科学会総会, 1986, 10, 東京

22) 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 西嶋美知春, 神山和世
福田 修, 高久 晃: Tandem lesion を有する頸部
内頸動脈狭窄症例の手術適応—血栓内膜切除術施行
例よりの検討—. 第45回日本脳神経外科学会総会,
1986, 10, 東京

23) 堀江幸男, 栗本昌紀, 新井研治, 杉田 毅,
岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: ヒト悪性 glioma
(TM—1) 培養上清液の増殖促進作用—TM—1お
よびラット glia 細胞に対する効果—. 第45回日本脳
神経外科学会総会, 1986, 10, 東京

24) 遠藤俊郎, 杉田 毅, 岩井良成, 神山和世,
大辻常男, 高久 晃: Oxy Hemoglobin 投与による

脳血管攣縮の発現機序—実験的研究—. 第45回日本
脳神経外科学会総会, 1986, 10, 東京

25) 中田潤一, 斎藤哲現, 岡 伸夫, 高久 晃:
実験的水頭症における evoked potential. 厚生省
特定疾患 難治性水頭症調査研究班 昭和61年度第
1回班会議総会, 1986, 10, 東京

26) 杉田 毅, 遠藤俊郎, 神山和世, 岩井良成,
大辻常男, 高久 晃: Oxy-Hb 誘発脳血管攣縮にお
ける中膜筋細胞 Na pump の変化. 第29回脳循環代
謝研究会, 1986, 10, 東京

27) 平島 豊, 本 敦文, 遠藤俊郎, 高久 晃:
虚血脳 phospholipase C, phospholipase A および
DG + MG lipase に及ぼす Ca^{2+} の影響. 第29回脳
循環代謝研究会, 1986, 10, 東京

28) 桑山直也, 遠藤俊郎, 甲州啓二, 福田 修,
高久 晃: 小動物を対象とした局所脳血流測定に対
する種々の試み. 厚生省神経疾患 発達期における
脳循環障害調査研究班昭和61年度第1回班会議総会
1986, 10, 東京

29) 山谷和正, 斎藤哲現, 大井政芳, 岡 伸夫,
遠藤俊郎, 高久 晃: Human tail の1例. 第19回
日本脳神経外科学会中部地方会, 1986, 11, 岐阜

30) 遠藤俊郎, 古市 晋, 斎藤哲現, 増田良一,
岡 伸夫, 高久 晃: 術前脳血管写にて内頸動脈動
脈瘤と診断された後交通動脈閉塞症の1例. 第19回
日本脳神経外科学会中部地方会, 1986, 11, 岐阜

31) 福田 修, 増田良一, 佐藤秀次: MRI, DSA
が診断上有用であった胸髄 hemangioblastoma の
1例. 第19回日本脳神経外科学会中部地方会, 1986,
11, 岐阜

32) 遠藤俊郎, 杉田 毅, 岩井良成, 神山和世,
大辻常男, 高久 晃: Oxy-Hb 投与による脳血管攣
縮の発現機序. 脳神経外科学会スパズム関連演題検
討会, 1986, 12, 大阪

◆ その他

1) 神山和世: 椎骨動脈起始部狭窄症に対する血
行再建術. 第3回白馬カンファレンス, 1986, 1,
長野

2) 遠藤俊郎: シンポジウム”頭痛”「脳外科か
ら」. 富山県麻酔科医会研究会, 1986, 5, 富山

3) 高久 晃: 脳死. 第5回市民医薬学講座,
1986, 5, 富山

4) 高久 晃: 生命倫理にかかわる脳死等の諸問
題をめぐって. 第2ブロック布教使研修会, 1986,
9, 富山

5) 高久 晃: 脳死の問題. 富山県弁護士会人権
擁護委員会研修委員会, 1986, 9, 富山

6) 遠藤俊郎：眼症状を主訴とする脳外科疾患—血管性病変を中心として—。第15回富山眼科集談会特別講演，1986，11，富山

整 形 外 科 学

教 授	辻	陽 雄
助 教 授	伊 藤	達 雄
講 師	館 崎	慎一郎
講 師	山 田	均
講 師	海 木	玄 郷
助 手	加 藤	義 治
助 手	高 野	治 雄
助 手	松 井	寿 夫
助 手	岡 野	良 文
助 手	森 田	多 哉
助 手	小 坂	泰 啓
助 手	清 水	美 恵子
文部技官	佐 野	明 美

◆ 著 書

1) 寺山和雄，辻陽雄監訳：Surgical Exposures in Orthopaedics-The Anatomic Approach. by Stanley Hoppenfeld and Piet deBoer, Lippincott, 1984.

2) 辻 陽雄訳：脊椎。同上：210—300，南江堂，1986.

3) 辻 陽雄：腰椎椎間ヘルニア。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，248—260，メディカルフレンド社，1986.

4) 辻 陽雄：脊椎分離迂り症。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，261—265，メディカルフレンド社，1986.

5) 辻 陽雄：脊柱管狭窄症。「骨関節ハンドブック」(吉利和監修)，265—266，メディカルフレンド社，1986.

6) 辻 陽雄：診察と検査。「標準整形外科学」(第3版改訂)，75—125，医学書院，1986.

7) 辻 陽雄：骨関節の感染症。「標準整形外科学」(第3版改訂)，180—199，医学書院，1986.

8) Takano H., Tamaki T., Noguchi T., Takakuwa K.: Comparison of Spinal Cord Evoked Potentials Elicited by Spinal Cord and Peripheral Nerve Stimulation. Spinal Cord Monitoring, Ed. by J. Schramm and S. J. Jones, pp 29—34, Springer-Verlag, Heidelberg, 1985.

9) Tamaki T., Takano H., Takakuwa K.,

Tsuji H., Nakagawa T., Imai K., Inoue S.: An Assessment of the Use of Spinal Cord Evoked Potentials in Prognosis Estimation if Injured Spinal Cord. Spinal Cord Monitoring, Ed. by J. Schramm and S. J. Jones, pp 221—226, Springer-Verlag, Heidelberg, 1985.

10) Tamaki T., Takano H., Nakagawa T.: Evoked Spinal Cord Potential Elicited by Spinal and Stimulation and Its Use in Spinal Cord Monitoring. Evoked Potentials, Ed. by R. Q. Cracco and I. B. Wollner, Alan R. Liss, Inc., pp 428—433, 1986.

◆ 原 著

1) 辻 陽雄，佐野明美，本田順子：手術摘出ヒト腰椎椎間板・黄色靱帯の Collagen, Non-collagenous protein および Elastin の地理的分布と椎間板変性。整形外科基礎科学 13：483—485，1986.

2) 辻 陽雄，佐野明美，浦山茂樹，丸田喜美子：実験的椎間板ヘルニアにおける Collagen, Non-collagenous protein の地理的分布変化と ^3H -Lysine incorporation について，整形外科基礎科学 13：478—482，1986.

3) 玉置哲也，辻 陽雄，高野治雄，高桑一彦，野口哲夫：馬尾間歇跛行の電気生理学的解析。臨床整形外科 21：513—517，1986.

4) 高野治雄，玉置哲也，高桑一彦，関 隆夫，辻 陽雄，野口哲夫：腰部脊柱管狭窄における馬尾性下肢症状に対する脛・腓骨神経幹電気刺激の効果。整形・災害外科 29：673—677，1986.

5) 平野典和，辻 陽雄，佐野明美，市村和徳：椎間板水代謝に関する研究(第2報) —長軸粗振動が正常椎間板の水代謝に与える影響について—，整形外科基礎科学 13：469—472，1986.

6) 丸田喜美子，辻 陽雄，前田明夫，佐野明美：ラット尾椎間板内への H_2O_2 注入による病理学的変化と結合組織骨化の誘発(第1報)。整形外科基礎科学 13：499—502，1986.

7) 森田多哉，伊藤達雄，山田 均，加藤義治，玉置哲也，辻 陽雄：当教室における Halo-Vest の使用とその工夫。中部日本整形外科災害外科学会雑誌 29：199—202，1986.

8) Itoh T. and Tsuji H.: Technical Improvements and Results of Laminoplasty for Compressive Myelopathy in the Cervical Spine. Spine 10: 729—736, 1985.

9) Tsuji H.: Developmental Balloon Disc of